

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精工技研
 コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 昌利
 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,242	13.0	333	61.6	431	51.1	147	164.5
26年3月期第3四半期	7,295	108.0	206	—	285	—	55	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 185百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 540百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.07	16.00
26年3月期第3四半期	6.10	6.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	23,580	20,505	86.9	2,230.14
26年3月期	23,483	20,353	86.6	2,218.55

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 20,496百万円 26年3月期 20,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	11.7	640	182.6	650	147.1	260	—	28.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,333,654 株	26年3月期	9,333,654 株
27年3月期3Q	143,090 株	26年3月期	164,690 株
27年3月期3Q	9,179,534 株	26年3月期3Q	9,140,571 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国において底堅い経済成長が続きました。欧州や中国経済は内需の拡大に勢いが無いものの、米国向けを中心に輸出が増加しています。我が国経済においては、海外経済の緩やかな回復と円安傾向が続いていることから、輸出関連を中心に企業業績が改善しています。雇用や所得も緩やかに改善傾向にあるうえ、原油価格の下落も景気の押し上げ要因となっています。

当社グループが関わる情報通信関連やエレクトロニクス関連の市場においては、スマートフォンやタブレット等のモバイル関連機器の普及拡大が続いたほか、「スマートグラス」や「スマートウォッチ」に代表されるウェアラブルコンピュータの実用化に向けた技術開発が進みました。また、パソコンやデジタル家電以外の様々な物をインターネットで繋いで情報を伝達する「モノのインターネット」(Internet of Things: IoT)や、人間を介在せずに機械同士で自動的に情報をやり取りする「M2M」(Machine-to-Machine)等の技術の進捗が注目されています。自動車関連市場においては、究極のエコカーと呼ばれる燃料電池車の市場販売が始まり、車載部品の一層の軽量化と電装化が進むこととなりました。

こうした中で当社グループは、精密金型技術と幅広い成形技術の応用による各種の金型や精密成形品、高耐熱レンズ等を主力製品とする精機関連と、光通信網の敷設に用いられるコネクタ等の各種部品や、その部品を製造、検査するための装置、デジタル電波を光信号に変えて送信する光伝送装置等を主力製品とする光製品関連の両セグメントにおいて、既存顧客の維持と新規顧客の開拓に取り組みました。平成25年5月に連結子会社に加えた不二電子工業株式会社との間においては、同社の製品を成形するための金型を当社が供給するほか、技術者同士が定期的に打合せを実施するなど、両社のシナジーによって新たな付加価値を創出するべく積極的に交流を図っています。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,242,938千円(前年同四半期比13.0%増)となりました。売上高が増加した主な要因は、不二電子工業の計上月数が前年同四半期より2カ月分多いことに加え、精密金型や高耐熱レンズの販売が増加したことによりです。また損益面においては、売上高の増加に加え、原価低減が進捗し、営業利益は333,805千円(前年同四半期比61.6%増)、経常利益は431,398千円(前年同四半期比51.1%増)、四半期純利益は147,556千円(前年同四半期比164.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

自動車関連市場の拡大を背景に、車載用センサー等の精密成形品は堅調に売上を伸ばしています。精密金型関連では、高い精度が求められる製品を射出成形で量産するための金型に対する引き合いが増加しました。また、スマートフォンに搭載されるカメラ向けの高耐熱レンズは、比較的安価なスマートフォンの普及拡大を背景に、中国のお客様向けの売上が増加することとなりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の精機関連の売上高は4,957,130千円(前年同四半期比27.9%増)となりました。売上高の増加に加え、原価低減を進めた結果、営業利益は204,257千円(前年同四半期は19,526千円の営業損失)となりました。

② 光製品関連

世界的なスマートフォンの普及や、インターネット上の動画配信の増加等、情報データの増大を背景に、光通信網やデータセンター等の設備は緩やかながら拡大基調で推移しています。一方、汎用的な光通信用部品の市場単価の下落圧力は恒常的になっていることから、中国の生産工場においては現地での部材の調達を推進するほか、材料変更や製造工程の見直し等による原価低減に取り組みました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は3,296,408千円(前年同四半期比3.6%減)となりました。売上高の減少と販売単価の下落を受けて営業利益は131,977千円(前年同四半期比41.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,580,809千円となり、前連結会計年度末から96,891千円増加いたしました。流動資産は13,707,472千円となり、前連結会計年度末から451,681千円増加いたしました。その主な要因は、未収入金及び棚卸資産の増加等に因るものであります。固定資産は9,873,337千円となり、前連結会計年度末から354,790千円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれん等の減価償却が進んだ他、精能光學股份有限公司の株式の一部売却により、投資有価証券が減少したこと等に因るものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,075,661千円となり、前連結会計年度末から54,544千円減少いたしました。その主な要因は、子会社において前連結会計年度に係る法人税を納付し、未払法人税等が減少したこと等に因るものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は20,505,148千円となり、前連結会計年度末から151,435千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金や自己株式、為替換算調整勘定等の増加に因るものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

なお、この変更に伴う期首の利益剰余金並びに損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,051,494	9,029,632
受取手形及び売掛金	2,175,368	2,057,321
商品及び製品	436,899	425,003
仕掛品	426,752	457,169
原材料及び貯蔵品	629,919	788,064
未収還付法人税等	29,903	65,245
その他	510,834	890,365
貸倒引当金	△5,382	△5,331
流動資産合計	13,255,790	13,707,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,235,638	5,433,745
減価償却累計額	△3,350,560	△3,451,147
建物及び構築物(純額)	1,885,077	1,982,597
機械装置及び運搬具	4,513,864	4,524,251
減価償却累計額	△3,772,816	△3,774,447
機械装置及び運搬具(純額)	741,047	749,803
土地	2,246,539	2,246,539
建設仮勘定	377,429	233,535
その他	4,463,850	4,594,228
減価償却累計額	△4,009,734	△4,175,622
その他(純額)	454,115	418,605
有形固定資産合計	5,704,209	5,631,081
無形固定資産		
のれん	2,311,018	2,121,969
顧客関連資産	616,264	565,842
その他	77,935	121,398
無形固定資産合計	3,005,217	2,809,210
投資その他の資産		
投資有価証券	532,942	408,697
投資不動産	950,747	990,771
その他	35,010	33,576
投資その他の資産合計	1,518,701	1,433,045
固定資産合計	10,228,128	9,873,337
資産合計	23,483,918	23,580,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,025,896	1,145,209
未払法人税等	254,051	119,370
賞与引当金	74,221	33,982
その他	714,647	709,929
流動負債合計	2,068,816	2,008,492
固定負債		
退職給付に係る負債	649,689	677,611
長期未払金	145,370	145,370
長期預り保証金	59,965	47,115
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	144,907	137,117
その他	42,419	40,917
固定負債合計	1,061,389	1,067,169
負債合計	3,130,206	3,075,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,678,309	2,747,172
自己株式	△363,131	△315,504
株主資本合計	19,678,280	19,794,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,707	5,707
為替換算調整勘定	649,422	680,634
退職給付に係る調整累計額	12,398	15,088
その他の包括利益累計額合計	663,527	701,430
新株予約権	11,904	8,947
純資産合計	20,353,712	20,505,148
負債純資産合計	23,483,918	23,580,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,295,378	8,242,938
売上原価	5,244,478	5,840,333
売上総利益	2,050,899	2,402,604
販売費及び一般管理費	1,844,288	2,068,799
営業利益	206,611	333,805
営業外収益		
受取利息	15,559	8,290
受取配当金	393	530
補助金収入	1,855	12,690
投資不動産賃貸料	37,162	40,319
為替差益	82,015	48,136
その他	23,351	34,776
営業外収益合計	160,337	144,743
営業外費用		
不動産賃貸原価	12,275	14,583
持分法による投資損失	65,713	28,871
その他	3,536	3,695
営業外費用合計	81,525	47,150
経常利益	285,423	431,398
特別利益		
固定資産売却益	1,081	2,902
特別利益合計	1,081	2,902
特別損失		
固定資産売却損	141	-
特別損失合計	141	-
税金等調整前四半期純利益	286,363	434,300
法人税、住民税及び事業税	250,799	283,987
法人税等調整額	△20,869	2,756
法人税等合計	229,930	286,743
少数株主損益調整前四半期純利益	56,433	147,556
少数株主利益	650	-
四半期純利益	55,782	147,556

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,433	147,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,132	4,000
為替換算調整勘定	426,420	72,482
退職給付に係る調整額	—	2,690
持分法適用会社に対する持分相当額	53,739	△41,270
その他の包括利益合計	484,292	37,903
四半期包括利益	540,725	185,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,069	185,460
少数株主に係る四半期包括利益	655	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,875,405	3,419,972	7,295,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,875,405	3,419,972	7,295,378
セグメント利益又は損失(△)	△19,526	226,138	206,611

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「精機関連」のセグメント資産が、6,414,656千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「精機関連」セグメントにおいて、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、2,374,034千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,946,630	3,296,307	8,242,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,500	100	10,600
計	4,957,130	3,296,408	8,253,539
セグメント利益	204,257	131,977	336,234

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	336,234
セグメント間取引消去	△2,429
四半期連結損益計算書の営業利益	333,805

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。